

今年ももうわずかですね。いろんなことのあった一年でした。
来年もまたきっと実り多い年になりますように。

contents

◇◆◇	はじめに	◇◆◇
◇◆◇	CRICEDから帰国隊員報告会のお知らせ	◇◆◇
◇◆◇	神奈川県教育委員会から励ましの言葉	◇◆◇
◇◆◇	全国の教員ネットワーク化の動きについて	◇◆◇
◇◆◇	活動マップの公開	◇◆◇
◇◆◇	編集担当からお知らせ	◇◆◇

◇◆◇ はじめに ◇◆◇

今月もメールマガジンの発信が大幅に遅れてしまいました。
実は毎月1日に配信するつもりで始めたのですが、一度もうまく
いったことがありません。今年の反省と来年の目標にします。

夜の寒さをひとしおきびしく感じるようになりました。街角は
クリスマスメロディで喧しいのですが、そんな騒がしさも懐かしく
思われる方もいらっしゃるでしょうか。

さてメルマガ第4号をお届けします。
今回初めて教育委員会から原稿をいただくことができました。
活動マップもようやく準備できたのでご覧になってください。

◇◆◇ CRICEDから帰国隊員報告会のお知らせ ◇◆◇

来月1月5日にJICA国際総合研修所で「帰国隊員報告会」を開催します。

今回は、平成17年度隊の16名の先生方による報告、
派遣現職教員の支援事業代表者の報告、
海外経験の還元活動についてのパネルディスカッション、

を計画しています。

派遣現職教員の活動を知ってもらいたい機会になると思います。
それぞれの学校の校長先生や教頭先生、教育委員会の方にもお知らせして、
ぜひ参加して下さるようお勧めください。

参加申し込みは下記URLからお願いします。

→ <http://www.criced.tsukuba.ac.jp/jocv/>

◇◆◇ 神奈川県教育委員会から励ましの言葉をいただきました ◇◆◇

1. 派遣中の現職隊員へ

現職教員が開発途上国の教育に協力することは、派遣先の国の教育や
社会の発展に貢献することができます。日本とは全く異なる教育環境、
職場環境において教育に従事することで、教員本人の研修となり資質の
向上にもつながります。さらに、帰国後には実体験を生かした国際理解
や国際教育に関する教育を行うことが期待されています。感じたこと、
身に付けたことを日本で伝えていただきたいので、現地で精一杯
活動してください。

2. 派遣現職教員による海外経験の学校現場への還元に関して

平成17年、青年海外協力隊として派遣されていた教員が、所属の
小学校において、インターネットを活用した海外の小学校とのライブ
授業を行い、互いの学校の児童同士がネット画面を通じて直にやりとり
を行う交流学習の事例がありました。総合的な学習の時間等を利用して
派遣先の国の紹介を行ったり、教員やPTAを対象とした講演会を行う
ことは、異文化理解の推進に役立ちます。他にも、帰国・外国人生徒へ
の指導や新たな派遣教員に対する情報発信等、海外経験を生かした様々
な活動を行っていただきたいです。

(原稿を寄せていただきました神奈川県教育委員会の担当者の方、
ありがとうございました。今後も派遣現職教員の活動を暖かく見守って
くださいますようお願いいたします。)

◇◆◇ 活動マップの公開



活動マップを作成するため写真と文章の提出をお願いしていましたが、
ようやく準備が整いましたのでお知らせします。

派遣現職教員支援HPのトップページ

(<http://www.criced.tsukuba.ac.jp/jocv/index.html>) から、

“現職教員の活躍”、“現職教員の活動マップ”と進んでください。

作成が遅れて申し訳なかったです。
ただしまだデータをいただいていない方もかなりいらっしゃいます。
下記の要領でデータをお送りくださればすぐにアップロードします。

18年度1次隊・19年度1次隊の先生方

→ 活動の様子や環境が分かる写真1枚＋文章（400字以内）
任地の緯度と経度

* 活動マップの課題や問題についてまとめたいので感想も送って
くだされば参考とさせていただきます。

◇◆◇ 全国の教員ネットワーク化の動きについて ◇◆◇

長野県教員等ネットワークの立ち上げの経緯として、JICA駒ヶ根に
長野県教育委員会から問合せがあったことを前号で紹介しました。
(→ワークショップ参加報告：西村真由子さん)

そこでJICA国内機関に電話で帰国した現職教員のネットワーク活動がないか
聞いた結果を以下にまとめます。

JICA札幌 ネットワークの話は特に聞いていない。
参加者が増えた平成18年度隊の帰国以降に期待しています。

JICA東北 山形県内で平成17年から会合を開いています。
現在活動のガイドブックを作ろうとしています。

JICA二本松 ネットワークの話は特に聞いていないが課題だと考えています。

JICA筑波 今年8月に話し合いを行いました。

JICA地球ひろば
ネットワークの話は特に聞いていない。
日常の開発教育の仕事が非常に多くこれを統合させたいが、
東京にはいろんな組織や人材がいて個別に対応できる面がある。

JICA横浜 ネットワークの話は特に聞いていない。
JICA北陸 ネットワークの話は特に聞いていない。

JICA中部 ネットワークの話は特に聞いていない。
愛知博のフレンドシップ事業を継続している市町村があります。

JICA大阪 ネットワークの話は特に聞いていない。
京都市で来年4月から京都市教育委員会の承認を得て活動を
スタートする話を聞いています。

JICA中国 ネットワークの話は特に聞いていない。
JICA四国 ネットワークの話は特に聞いていない。
JICA九州 ネットワークの話は特に聞いていない。
JICA沖縄 ネットワークの話は特に聞いていない。

いずれの地域の担当の方も長野県教員等ネットワークのことはご存知で、
こうした動きはないですかという質問から上記の回答をいただきました。

電話で話した印象として、

- ・長野県の事例に対して非常に関心が高い、
- ・帰国後の活動の活性化に力を入れている、
- ・地域ごとに異なる課題を抱えている、

ことを感じました。

スペースの都合から省略しましたが、担当の方からはもう少し詳しく
話を聞いています。関心のある方は担当鎌田までご連絡ください。

◆◆◇ 編集担当（鎌田亮一）からお知らせ

◆◆◇

メールマガジンの配信について

今後も教育委員会をはじめ様々な教育機関・団体・個人の方へ原稿依頼を行う予定です。その場合そうした方々にもこのメールマガジンを見ていただく必要があると考え、文部科学省の方と相談しメールマガジンを次回の第5号から公開することにしました。

そこで、メールマガジンの配信先をメーリングリストとは別に管理し、派遣現職教員サポートのホームページから“登録”及び“登録削除”ができるようにします。

今後も派遣現職教員の活動支援に関する記事を幅広く取り上げていくつもりですので、皆様からもこのメールマガジンのことを回りの方や学校関係者の方にお知らせくださるようお願いいたします。

鎌田 亮一 (Ryoichi KAMADA)
kamada@criced.tsukuba.ac.jp
(メールマガジン編集担当)
筑波大学教育開発国際協力研究センター
〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1
Tel/Fax 029-853-6573
